

拝啓

皆様、こんにちは！ 年を明けると予想以上の景気の悪化だなーと実感しています。景気に負けずに頑張りましょう！
ビジネス経営の最前線で頑張っておられる方の役に立つ情報となればと思います。喜んで頂ければ幸いです。

ちょっと役に立つ話

21世紀型リーダーの条件（外資系トップが語る経営理念より）

必要なのは「意識改革」「個の確立」「人間愛」だ。

長引く景気低迷、グローバルイゼーションの進展、規制緩和による新規参入など、競争環境の変化により、企業は経営のパラダイムの変更を余儀なくされています。

リーダーというのはつねに、「自己決定」「自己解決」「自己責任」が求められます。

その前提として必要なのが、「個の確立」です。

「個の確立」とは、自分が何物であるのか？

自分の社会的役割はどこにあるのか？……自分自身で見出すことです。

また、リーダーは、経営理念と的確な目標を部下に示す必要があります。

その為にも、個を確立することが重要なのです。……アイデンティティの確立

もうひとつ忘れてはならないのは、社員を尊敬することです。

社員一人ひとりはずばらしい能力をもっています。

「人間愛」はリーダーの基本であると考えべきでしょう。

21世紀の上司の哲学「価値ある失敗はプラスに評価する。」

失敗を評価する。

一般に日本人は失敗を恥と考えるため、80から90%の成功確率がなければ何事にも挑戦しようとしません。これでは、変化に適応して成長することは不可能です。

部下を管理することが仕事だと考えている上司が少なくないようですが、間違いです。

情報の風通しをよくする。

できるかぎり有効な範囲には広く流通させて、活用できるようにすることが肝要です。

悪い情報ほど迅速に伝わる組織作りをこころがけなければなりません。

情報の処理能力を身につける。

情報があふれている時代ですから、情報の真偽や良し悪しを判断できる能力があり、それに基づいて的確な指示を部下に出せなければ、上司として失格でしょう。

一人ひとりの能力を引き伸ばす。

個人の業務範囲、個人の仕事に対する欲求、個人の能力を最大限に引き伸ばす環境を企業内につくる必要があります。人間はだれでも無限の可能性をもっています。

それを発見し、活かせるようにするのが上に立つ者の責務と言えましょう。

日本企業では、リーダーに意見する者は排除されがちですが、むしろ自分に反論してくる人間こそ歓迎すべきでしょう。

「夢や目標を具体化し、現実化するのがリーダーの仕事。」

景気が悪くて、企業は倒産することは絶対にありません。

世の中の外部環境が変わってきており、それに（変化）対応出来なかったからです。

激変の乱世の真ただ中、自らの意思で、自社・自分をイノベーションしましょう！

では、どうすればいいのか？・・・それは「自己を見つめる」ことが絶対必要になります。

つまりは、東洋哲学・思想・価値観を共に学ぶことが重要になっていると実感しています。